



しも だて すすむ  
下館 進さん(山形町・39歳)

短角牛の存続へ。そして、いつか山形から日本一の闘牛を――。

## 畜

産業を営み、いわてくじ農協短角牛肥育部の部長を務める。また、平庭闘牛大会では勢子として活躍。「伊達男」の異名で闘牛場を制する。下館さん宅は山形町内でも指折りの畜産農家。「小さい頃からずつとそばで見てきたから、家を継ぐことも勢子を務めることも当たり前のことだった」と話す。

「今は闘牛の数が減ってきてたけど、昔は存続の危機に立たされていた。これからも、(闘牛の本場である)新潟や沖繩で活躍できる牛を育てていきたい。」

いわてくじ農協では今年3月に、「山形村短角牛」の名を商標登録した。10年以上掛けて純国産の飼料にこだわり続けた結果、100%の国産牛として認められたことを意味する。「農協や飼料製造業者との努力が実った。飽きのこない赤身肉を味わってほしい」と自信をのぞかせる。

子宝に恵まれ、小学3年の娘を先頭に子どもは4人。「一人息子には家を継いでもらえたら」と目を細める。

「畜産は楽しい」と言い切る。「世代が違ってもがんばれば認めてくれるから、やりがいがある。楽しくなかつたら、ここまで続けられないよね。息子の世代まで、そのずっと先までも畜産の経営が続いてほしい。そして、いつか山形から日本一の闘牛が出てくれたら」。そう言つて短角牛存続に闘志を燃やす。

子どもたちから見れば、勢子として活躍するカッコいいお父さん。だから応援には家族で駆けつけ、その勇姿を目に焼き付ける。「去年は、横綱戦であかりパンダ(横綱)に転ばされちゃつて、娘に笑われたんだよ。だから、次はがんばらないとね」と照れ笑いが。伊達男が優しいお父さんの一面をそつとのぞかせた。

## がっこうウオーク

来内小学校  
(西岡健一校長、児童数11人)



「生で食べばうまいよ〜!」―「じゃあ、1袋買うかな〜」

「いらつしやいませ〜。サラダホウレンソウいかがですか〜」。元気な児童たちの声が青空の下に響きます。

来内小学校では6月17日、平庭高原で開催される平庭市に手作りの野菜を出品しました。この取り組みは、同校の「栽培体験学習」の一環。同校では、地域の方の土地を借りて、サラダホウレンソウやジャガイモ、ゴーヤなどたく

さんの野菜を栽培しています。もちろん無農薬です。

「これらの野菜は実際に児童が手入れをして、今朝収穫したものばかり。栽培という活動を通して、食べ物の大切さや販売の苦労について考えたり、地域のために活動していることを意識したりしてほしいですね」と吉田淳子教頭。

この日は、サラダホウレンソウとシイタケをそれぞれ1

「安全な食」実感  
短角牛の里と都市を結ぶ集い

「短角牛の里と都市を結ぶ集い」が7月14〜16日、山形町内で行われました。この集いは、首都圏で活動する、安全な食を求める消費者団体「大地を守る会(藤田和芳会



牛さん、たくさん食べてね

00円、50円で販売しました。児童会長の落合凌太君(6年)は「上手に作れた。食べるなら生がおススメ」と自信たっぷり。その自信のとおり、児童たちが大きな声で客寄せを開始すると、開始30分であつという間に完売しました。

児童たちによる平庭市での販売活動は10月まで続けられます。販売で得た収益は「冬のスケート活動に使いたい」と笑顔を広げる児童たち。苦勞して栽培し、収益を得る。この学習を通して、児童たちは生きていくために必要なものを学んでいます。

長」と同町の短角牛生産者などとの交流会。大地を守る会の会員約50人が訪れ、平庭高原の散策や、農家への民泊などを体験し、交流しました。

16日にはエリート牧場にて、短角牛へのエサやりなどを体験。大自然の中で放牧される短角牛と直接触れ合つて、「安全な食」を実感していました。

短角牛にエサをあげたりして触れ合つた金子咲希さん(東京都下赤塚小4年)は「山形に来たのは初めて。牛が甘えてきてかわいかった」と笑顔を広げていました。

**「山形村短角牛」商標を登録**

いわてくじ農協では、本年3月に「山形村短角牛」の名を特許庁に申請、商標登録を受けました。山形村短角牛は、肥育から出荷まで与える飼料は100%国産。脂肪分が少なく、低カロリーで栄養価も高いのが特徴です。

## 子育て支援センターだより

☎52-3210

■8月の予定■  
◎1日(水)水遊び10:00~12:00、赤ちゃんサロン13:30~15:30◎2日(木)うさこちゃんの部屋11:00~12:00◎22日(水)ひよこ教室10:00~12:00◎23日(木)絵本の読み聞かせとふれあい遊び10:30~11:30◎27日(月)園庭開放(小久慈保育園)10:00~12:00◎28日(火)園庭開放(長内保育園)10:30~12:00

■利用案内■  
◇対象…就学前の児童とその保護者◇利用時間…毎週月~金曜日、8時30分~17時(土曜日は8時30分~12時)◇お休み…土曜日の午後、日曜日、祝祭日、年末年始◇利用料…無料

## 図書館だより

### 今日のオススメ図書

《市立図書館》  
「毎日の野菜おかず大百科」  
家の光協会 編  
夏バテ防止のため、バランス良く、毎日あきずに食べられる75種類の野菜を使った450のアイデアレシピを紹介。あなたと家族の健康を守る1冊です。

《山形図書館》  
「親子で楽しむアウトドア」  
JTBパブリッシング発行  
たくさん不思議と生き物に出会える川や湖、海、野山を中心にアウトドア遊びを紹介。危険を回避する知恵を養いながら、親子で楽しむヒントが満載です。

《市立図書館》  
■開館…(火~金9~19時、土日9~17時) ■休館…月曜日、祝日(祝日が月曜日に重なる場合、翌日)  
●チビッコの部屋 8/25(土)14時~14時30分

●手作り絵本展巡回展示 8/2(木)~8/5(日) …県読書推進運動協議会で募集した手づくり絵本の入賞作品など100点を展示します

●市読書感想文コンクール募集…◇応募資格=市内の小中高校生◇締め切り=9月13日(木)◇提出先=▽小中学生…大川目小学校▽高校生…市立図書館(高校生)◇原稿用紙の字数=▽小学1・2年…800字以内▽小学3・4年、5・6年…1,200字以内▽中学校、高校…2,000字以内

《山形図書館》  
■開館…10~18時 ■休館…毎月月曜日、毎月末日